

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 文化を切り口とした地域活性化事業費補助金（R8分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 文化創造課 文化交流係 電話番号：058-272-1111(内3127)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 19,560 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|------------|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 現 計 予算額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 補 正 要求額 | 19,560 | 9,050 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10,510 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

「清流の国ぎふ」文化祭2024では、「清流文化地域推し活動」(愛称：「ちーオシ」)や「文化芸術共創プログラム」、「清流の国 文化探訪『南飛驒 Art Discovery』」等、様々な文化活動を通じて地域への愛着と誇りを醸成し、一人ひとりが、ともに輝く「共生・共創社会」を実現するための素地が整えられた。「地域への愛着と誇り」の醸成と、「共生・共創社会」の実現を目指す市町村とともに、地域の特性や実情に応じながら文化振興・文化活動を切り口とした地域活性化の取組を展開する。

(2) 事業内容

○文化を切り口とした地域活性化事業費補助金

【事業主体】市町村、一部事務組合及び広域連合等

【補助率】1/2以内

【上限額】一般枠…1,000千円 交流拡大枠…3,000千円

(一般枠)

「清流文化地域推し活動」や「文化芸術共創プログラム」に通じる事業や、年齢、性別、障がいの有無に関わらず幅広く参加できる文化イベントなど、文化を切り口とした地域活性化に取組む市町村等に対し補助する。

(交流拡大枠)

「清流の国 文化探訪『南飛驒 Art Discovery』」の理念に通じる、地域資源を活用した、国内外の交流人口の拡大が見込まれるアートプロジェクトの開催に取組む市町村等に対し補助する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内全域にわたる課題への対応であり、県負担は妥当。
県 1 / 2 市町村等 1 / 2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|--------|-------------------------------|
| 旅費 | 1,222 | 県内市町村との打合せ、現地調整 |
| 消耗品 | 50 | 事務用品購入 |
| 会議費 | 2 | 飲料代 |
| 役務費 | 7 | 郵便代 |
| 使用料 | 179 | 視察用レンタカー借上げ、パスポート等購入、会議室借り上げ料 |
| 補助金 | 18,100 | 市町村等への補助金 |
| 合計 | 19,560 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創成総合戦略による位置づけ
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (1) 地域の魅力・清流文化の創造・伝承・発信
 - ① 「清流の国ぎふ」文化・芸術の創造・伝承・発信
- 第4期岐阜県障がい者総合支援プラン
 - ・障がい者の芸術文化活動の充実

(2) 後年度の財政負担

令和9年度：継続して補助金を計上予定

(3) 事業主体及びその妥当性

地域に文化芸術があふれ、誰もが文化芸術に親しみ、楽しむことができる岐阜県をつくることを目的としており、これに資する事業を県が主体的に支援することは妥当。

アートプロジェクトの開催には作品制作等で多額の経費がかかり、開催市町村等の財政負担が大きくなることから、アートを通して地域活性化を図りたいという市町村等に対する支援を行う仕組みをつくる必要がある。

県単独補助金事業評価調書

| |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

(事業内容)

| | |
|-----------|--|
| 補助事業名 | 文化を切り口とした地域活性化支援事業費補助金 |
| 補助事業者（団体） | 市町村等 (理由) 市町村等が実施する、文化振興・文化活動を切り口とした地域活性化の展開を支援するため |
| 補助事業の概要 | (目的) 県内文化の振興 (内容) 各市町村等による文化振興事業の実施 |
| 補助率・補助単価等 | 定率 (内容) 1 / 2 以内 (理由) 補助事業者の主体性を損なわない範囲で最大の補助を行うため |
| 補助効果 | 事業によって県文化の発展・継続が見込める |
| 終期の設定 | 令和9年度 (理由) 「清流の国ぎふ」創生総合戦略の終期であるため |

(事業目標)

| |
|--|
| <p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 文化芸術活動に参加する県民の増加、アートプロジェクトを始めとする新たな文化の創造及び地域の伝統文化等の継承を図ることで、継続的な文化活動を確立させる。</p> |
|--|

(目標の達成度を示す指標と実績)

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R7年度実績 | R8年度目標 | R9年度目標 | 終期目標 (R9) | 達成率 |
|-----|-------------|--------|--------|--------|-----------|-----|
| | ①補助（参画）事業者数 | — | 8 | 11 | / | |
| ② | / | / | / | / | / | / |

| | | | |
|--------------------|------|------|------|
| 補助金交付実績 (単位：千円) | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
| | / | / | / |

(これまでの取組内容と成果)

| | |
|-------|---|
| 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 |
| | 指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ % |
| 令和5年度 | <ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 |
| | 指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ % |
| 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 |
| | 指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ % |

(事業の評価)

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない | |
| (評価) 3 | 「清流の国ぎふ」文化祭2024における市町村等の取組を一過性としな いために、文化祭終了後に継続的に支援することで、地域における文化活動 の取組の定着を図る必要がある。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) | |
| (評価) 2 | 市町村等において、「清流の国ぎふ」文化祭2024を機に始まった事業 が継続されたり、新たな芸術祭開催に繋がる取組が展開されたりしている。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている | |
| (評価) 2 | 令和7年度は一般枠にあたる部分を県・市町参画の実行委員会方式で、交 流拡大枠にあたる部分を補助事業で実施しているところ、令和8年度は補助 事業に一本化して効率化を図る。 |

(今後の課題)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 市町村等に積極的な活用を促し、地域活性化に繋がる取組を拡大していく必要がある。 |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのよ うに取り組むのか 文化振興・文化活動を切り口とした地域活性化の展開を図るため、継続して市町村 等に積極的な活用を促す必要がある。 |
|--|